

EA グラフィック・ツール 2022

ジェネラル・ユーザーズ・マニュアル
兼
環境設定プログラム “EA_SetEnv2022” マニュアル

(株) 気象データシステム

2022 年 5 月

拡張アメダス気象データ グラフィック・ツール 2022 (EA Graphic Tools 2022) のダウンロード・ファイルに含まれるプログラム類の利用にあたって

1. 著作権・使用許諾について

ダウンロード・ファイルに収録された PDF 書類に、著作権と使用許諾に関する誓約・契約内容が記載されていますので、ご一読ください。その内容に同意する場合に限り、本書で解説するプログラム類を使用できます。なお、ダウンロード・ファイルに収録されたインストーラーを最後まで適用した時点で、上述の PDF 書類の内容に同意したものと見なします。

2. その他

本著作権物を利用して得られた成果物を公表する場合は、研究用・商用を問わず、拡張アメダス気象データおよび関連プログラム類を使用した旨を成果物の中に明記してください。

なお、本書では「拡張アメダス気象データ」を「EA 気象データ」と略記することがあります。

拡張アメダス気象データのホーム・ページについて

拡張アメダス気象データやその関連プログラムなどに関する情報については、以下の URL に示す弊社のホーム・ページもあわせてご覧ください。

<https://www.metds.co.jp/>

お問い合わせについて

拡張アメダス気象データおよびその関連プログラムに関するお問い合わせは、上記 URL のホーム・ページの「お問い合わせフォーム」からお願いいたします。(電話、FAX などでのお問い合わせは受け付けておりません。)

その他

T_EX は American Mathmistical Society の商標です。

WINDOWS[®] は、Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、本マニュアルの本文中に記載されている会社名、製品名などは、一般に、関係各社／団体の商標または登録商標です。本文中では、[®]、[©]、TM などのマークは特に明記していません。

本書の版下は著者自身が日本語 L^AT_EX 2_ε(pL^AT_EX 2_ε) で組版したものです。またクラスファイルは、奥村晴彦 著「L^AT_EX 2_ε 美文書作成入門」(技術評論社) のものを使用しました。

目次

	はじめに	1
1	EA_SetEnv2022 の使い方	2
1.1	起動方法	2
1.2	シリアル ID とユーザー名・組織名の登録	3
1.3	データ入力用ドライブ／フォルダーの登録	5
1.4	使用する Wea2 の DVD の登録	6
1.5	使用されるレジストリーなど	7
2	グラフィック・ツールの概要	7
2.1	各種ツール・プログラムのアイコンとメイン・ウィンドウ	7
2.2	各種ツール・プログラムの概要	9
2.3	使用されるレジストリー	11
	参考・引用文献	13
	索引	13

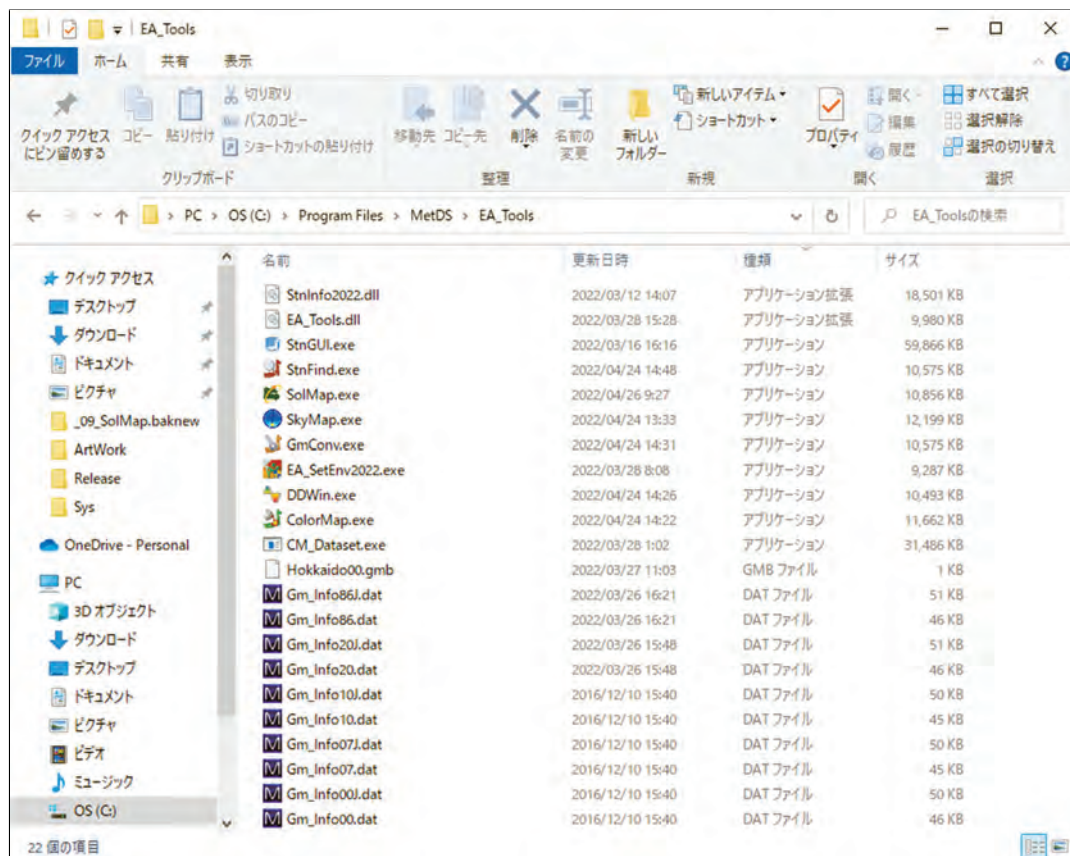
はじめに

この文書は、“EA グラフィック・ツール 2022”をインストールした直後、各種のツール（ソフトウェア）を使用する前に、読んでおいていただきたい事項をまとめたものです。

インストーラーによってユーザーのシステムディスクに最初に保存されるファイルは、64bit 版と 32bit 版の場合に応じて、以下のフォルダーを見ると分かります。

- 64bit 版をインストールした場合：C:\Program files\MetDS\EA_Tools
- 32bit 版をインストールした場合：C:\Program files (x86)\MetDS\EA_Tools

64bit 版と 32bit 版では保存された場所（フォルダー）とサイズが異なりますが、ファイルの名前は全く同じです。図 1 は、64bit 版の場合の保存フォルダーをファイル・エクスプローラーで表示したものです。何らかのトラブルが発生する時には先ず、これと同じ種類のファイルが全て存在することを確認してください。



注: ファイル・サイズやタイム・スタンプは、実際と異なります。

図 1 インストール後に保存されたファイル（64 ビット版の場合）

図において、Hokkaido00.gmb は、プログラム GmConv（GmConv.exe）起動用のバッチ・ファイル、また、拡張子が.dat の Gm_Info86J.dat, Gm_Info86.dat, ..., Gm_Info00.dat などという 10 個のファイルは、GmConv 用の内部データ・ファイルで、ここでは特に意識する必要はありません。

また、拡張子が.dllの2つのファイル、StnInfo2022.dllとEA_Tools.dllは、後で説明する拡張子が.exeの実行形式ファイルのほとんどが参照する、重要な共用コードやデータのファイル（ダイナミック・リンク・ライブラリー）です。この2つのファイルは、実行形式（EXE）ファイルと同じフォルダー内に並置されていなければなりません^{注1}。Windows OSに関する十分な知識のないユーザーは、これらを移動させるべきではありません。

さて、9つの実行形式（EXE）ファイルについてです。

CM_Dataset.exeは、プログラム ColorMap (ColorMap.exe) 用の様々なデータ・ファイルをまとめて圧縮した自己展開形式ファイルで、プログラム内部で使用するものですので、ユーザーはこのファイルを操作するべきではありません。

同様にStnGUI.exeも、様々なプログラムと連携したアメダス地点選択用のグラフィカル・ユーザー・インターフェースのダイアログボックスですので、ユーザーが単独で起動しても意味がありません。

以上に述べていない実行形式（EXE）の7つのファイルが“EA グラフィック・ツール 2022”の実体です。

ただし、EA_SetEnv2022.exeは、“EA グラフィック・ツール 2022”として提供される他の6種類のツール・プログラム（ソフトウェア）の使用環境を設定するためのもので、本質的な“ツール”とは異なりますし、何よりも先ず使用環境を整えることが重要ですので、次の章で解説します。

続いて、その他のツール・プログラム、すなわち① ColorMap.exe、② DDWin.exe、③ GmConv.exe、④ SkyMap.exe、⑤ SolMap.exe、⑥ StnFind.exe の概要を2章以降に示します。なお、①～⑥のツール・プログラムについては、それぞれ詳細なマニュアルも別途提供しています [1]–[5]。

1 EA_SetEnv2022 の使い方

1.1 起動方法

プログラム EA_SetEnv2022（実行形式ファイル EA_Set Env2022.exe）は、上述の①～⑥のツール・プログラムを始めて起動すると、自動的に必ず呼び出されるプログラムです。また、これら6つのプログラムに備わったメニューから、あたかもそのプログラムに備わった機能の一部であるかのように、呼び出して使うこともできますし、ユーザーが単独で起動しても構いません。

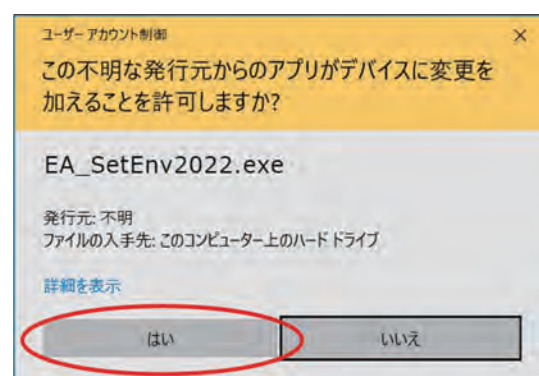


図2 EA_SetEnv2022 の起動時に表示される UAC（ユーザー・アカウント制御）ダイアログ・ウィンドウ

^{注1} 同様に StnGUI.exe も、他の実行形式（EXE）ファイルと同じフォルダー内に並置されていなければなりません。

ただし、このプログラムは、エンド・ユーザーがシステム上重要なレジストリを操作する機能を持つため、図 2 に示す UAC ダイアログ・ウィンドウが確認のために必ず表示されます。このウィンドウの「はい」のボタンをクリックして、先に進まなければなりません。

「はい」ボタンをクリックすると、図 3 のようなウィンドウが表示されます。このプログラムで設定可能な項目は次の 3 つで、ウィンドウの上部にそれぞれの項目に関するタブが付いています。

- シリアル ID とユーザー名・組織名の登録
- EA 気象データ・ファイル DVD を読み込むドライブ番号、または、コンピュータ・システム上の共有フォルダーの指定
- ユーザーが保持していてグラフィック・ツール 2022 と連携して使用する EA 気象データ・ファイルの指定

それぞれのタブ・ページ画面における設定については、次項以降に解説します。



図 3 環境設定プログラム EA_SetEnv2022 のメイン・ウィンドウ

1.2 シリアル ID とユーザー名・組織名の登録

ユーザー名と組織名の入力（英数字やかな漢字）は任意で空白でも各種ツール・プログラムの動作には影響しません。しかし、「製品のシリアル ID (S) :」ラベルの下にある部分は、本ツール・プログラムの購入時に弊社の発行した ID を正しく入力して、「登録 (G)」ボタンをクリックして登録しておかないと、以降、あらゆるツール・プログラムは動作しません。

本ツール・プログラムのシリアル ID は、EA 気象データの利用種類が「パッケージ版」と「ライセンス契約」の 2 つの場合によって異なります。

- EA 気象データを「パッケージ版」として利用するユーザー：
最初の 4 文字が TP22 で始まるシリアル ID
- EA 気象データを「ライセンス契約」で利用するユーザー：
最初の 4 文字が TG22 で始まるシリアル ID

これらの4文字は入力する必要はなく、ウィンドウ左側の上下に並んだラジオ・ボタンをクリックしてください。すると隣のボックスの表記が、例えば図4のように変化しますので、適切に選択しておきます。

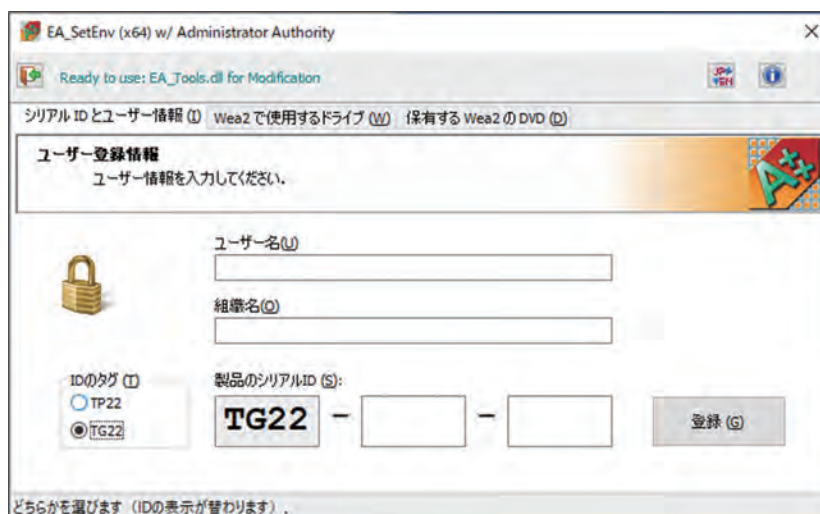


図4 EA_SetEnv2022のメイン・ウィンドウでシリアルIDの種類を変更する

その上で、中央の4つの英数字と右側4つの英数字を入力して、「登録 (G)」ボタンをクリックします。正しい入力データの場合は、図5のようなダイアログ・ボックスが表示されます。正しい入力としてこのボックスが表示されるまで、何度でも試行することができます。

シリアルIDはユーザー自身の責任で厳重に管理してください。どうしても必要な場合には、弊社ホーム・ページにある「お問い合わせフォーム」でシリアルIDの紛失とお知らせください。個別に誓約を交わした上で、図6のように再生する手順をお教えする場合があります。

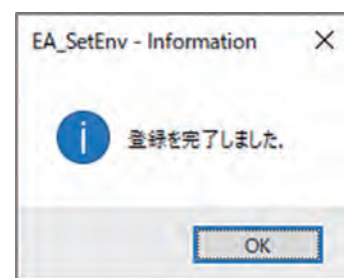


図5 EA_SetEnv2022で正しい登録操作の後で表示されるダイアログ・ウィンドウ



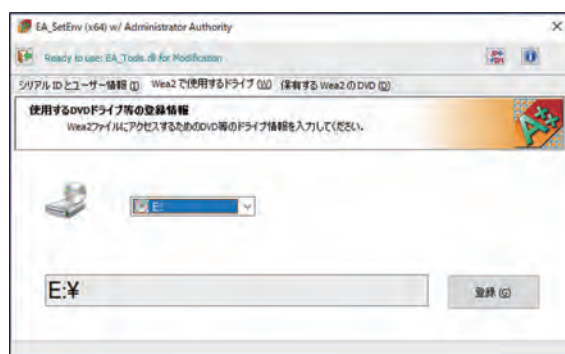
図6 EA_SetEnv2022でのシリアルIDの再生状況（4文字ずつの表示をモザイク加工）

1.3 データ入力用ドライブ／フォルダーの登録

このタブ・ページによる登録に先立ち、1.2 節のシリアル ID が登録済みである必要があります。タブ「Wea2 で使用するドライブ (W)」をクリックすると表示されるページのウィンドウでは、EA 気象データの DVD を読み込む DVD のドライブなどを登録できます。ここで、「ドライブなど」と述べたのは、シリアル ID が“TP22-”で始まる「パッケージ版」のユーザーと、シリアル ID が“TG22-”で始まる「ライセンス契約」のユーザーでは、グラフィック・ツールにおける EA 気象データ・ファイル (Wea2 ファイル) の読み込み元が異なるためです。

「パッケージ版」のユーザーは、ディスク・ドライブに DVD をセットして使用するため、そのドライブ・レターが登録対象ですし、「ライセンス契約」のユーザーは、コンピュータ・システムの任意のフォルダーに一括コピーされた Wea2 ファイルを使用できるため、そのフォルダーのディレクトリー・パスが登録対象です。両方の場合のウィンドウは図 7 (a), (b) の通りです。

(a) パッケージ版ユーザー (ID が TP22-) の場合



(b) ライセンス契約ユーザー (ID が TG22-) の場合



図 7 EA_SetEnv2022 におけるデータ入力用ドライブ／フォルダーの登録ウィンドウ

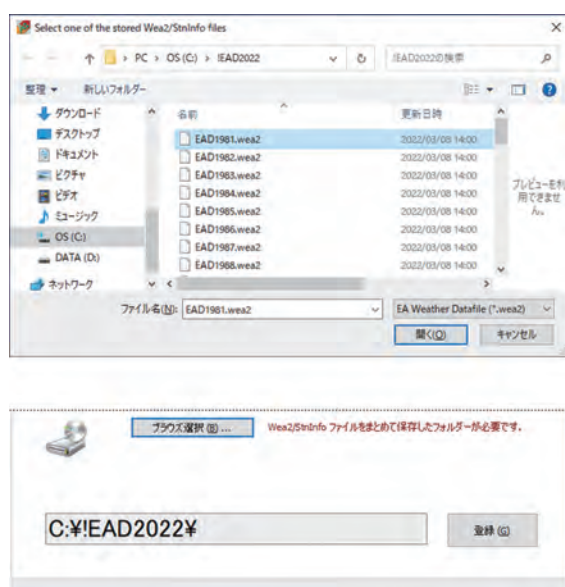


図 8 ブラウズ・ボタンをクリックして登録したいフォルダーを選択したところ

任意のフォルダーに Wea2 ファイルなどを一括保存して使用する「ライセンス契約」ユーザーは、この登録前に手作業で DVD からファイルを丸ごと (StnInfo ファイルも含めて) コピーしておく必要があります。図 8 はそのようにして準備したフォルダーを「ブラウズ選択 (B)」ボタンをクリックして選択したところを例示しています。このようにして、「登録 (G)」ボタンをクリックすれば、データ入力用のフォルダーが登録されます。

一方、「パッケージ版」ユーザーは、図 7 (a) のプルダウンリストボックスから、適切な DVD ドライブを選択して、「登録 (G)」ボタンをクリックします。そうすれば、EA 気象データの DVD ディスクを常にセットして使用する DVD ドライブが登録されます。

1.4 使用する Wea2 の DVD の登録

2022 年 5 月現在、発売されている Wea2 形式の EA 気象データの DVD は以下の 9 種類で、それぞれのディスクの ¥EAD フォルダに Wea2 ファイルと StnInfo ファイルが収録されています。

- 実在年 EA 気象データ 1981-1990 年 (10 年間) .例: EAD1990.wea2, StnInfo_EAD1990.dat
- 実在年 EA 気象データ 1991-2000 年 (10 年間) .例: EAD2000.wea2, StnInfo_EAD2000.dat
- 実在年 EA 気象データ 2001-2010 年 (10 年間) .例: EAD2010.wea2, StnInfo_EAD2010.dat
- 実在年 EA 気象データ 2011-2020 年 (10 年間) .例: EAD2020.wea2, StnInfo_EAD2020.dat
- 過去標準年 EA 気象データ 1995 年版 PRY8195.wea2 と
(1981-1995 年に基づく) StnInfo_PRY8195.dat
- 過去標準年 EA 気象データ 2000 年版 PRY9100.wea2 と
(1991-2000 年に基づく) StnInfo_PRY9100.dat
- 過去標準年 EA 気象データ 2010 年版 PRY0110.wea2 と
(2001-2010 年に基づく) StnInfo_PRY0110.dat
- 過去標準年 EA 気象データ 2020 年版 PRY1120.wea2 と
(2011-2020 年に基づく) StnInfo_PRY1120.dat
- 将来標準年 EA 気象データ 2086 年版 FRY7795.wea2 と
(2077-2095 年に基づく) StnInfo_FRY7795.dat

タブ「保有する Wea2 の DVD (D)」をクリックすると表示されるページのウィンドウでは、ユーザーが保有していて、一連のグラフィック・ツールで利用するものを指定して登録します。図 9 がその画面です。

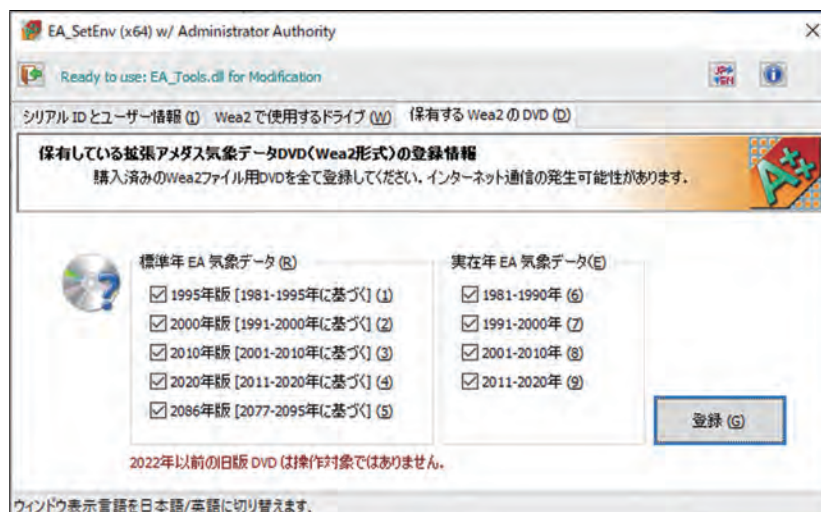


図 9 EA_SetEnv2022 における使用する Wea2 の DVD の登録ウィンドウ

使用する DVD (またはファイル) にチェックを入れて、「登録 (G)」ボタンをクリックすれば、使用するファイルが登録されます。なお、全てのページのウィンドウに共通ですが、登録が完了すると図 5 (4 ページ) のようなダイアログ・ボックスが表示されます。

1.5 使用されるレジストリーなど

EA_SetEnv2022 で「登録 (G)」ボタンをクリックして保存され、動作に影響するであろう主なデータなどは、以下のレジストリーに配置・記録されます。ユーザーはこれを手動で編集すべきではありませんが、各種グラフィック・ツールの起動などに不具合がある場合、これらのデータの有無をチェックしてトラブル・シューティングに役立てることができます。

HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE\




MetDS\EA_Tools\





DllPath.....実行形式ファイルなどの在処（変更厳禁）

DrvDir.....使用する DVD ドライブ（暗号化のため、直接編集不可）

TmpPath.....ユーザーファイルなどの在処（編集非推奨）

DrvDir.....保有する DVD（内部使用構造化データのため、直接編集不可）

なお、このプログラムには、ここまでで説明していないボタン（, , ) による機能も備わっています^{注2}。

をクリックすると、プログラムが終了します。これはシステム・ボタン  の代替ボタンです。また、をクリックすると、ウィンドウの表示言語を日／英で切り替えることができます。さらに、は、弊社のホームページを規定のブラウザで開く機能を持ちます。

2 グラフィック・ツールの概要

2.1 各種ツール・プログラムのアイコンとメイン・ウィンドウ

この節では、① ColorMap「カラー・マップ」（ファイル ColorMap.exe）、② DDWin「デグリー・ディ・ウィン」（ファイル DDWin.exe）、③ GmConv「グレイ・マップ・コンヴ」（ファイル GmConv.exe）、④ SkyMap「スカイ・マップ」（ファイル SkyMap.exe）、⑤ SolMap「ソル・マップ」（ファイル SolMap.exe）、⑥ StnFind「ステーション・ファインド」（ファイル StnFind.exe）のメイン・ウィンドウを紹介します。

それぞれ 32bit 版と 64bit 版があり、インストール・フォルダーが異なりますが（1 ページ参照）、32bit 版／64bit 版の違いは、メイン・ウィンドウの左上タイトルから確かめることができます。一例を図 10 に示します。64bit 版の場合には、タイトル行に“x64”の文字列が加わります。

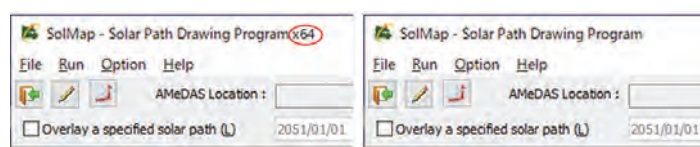
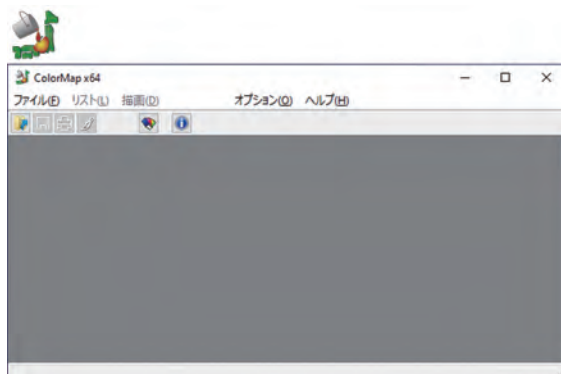


図 10 メイン・ウィンドウの左上のタイトルによる 32bit 版と 64bit 版の区別（左：64bit 版、右：32bit 版）

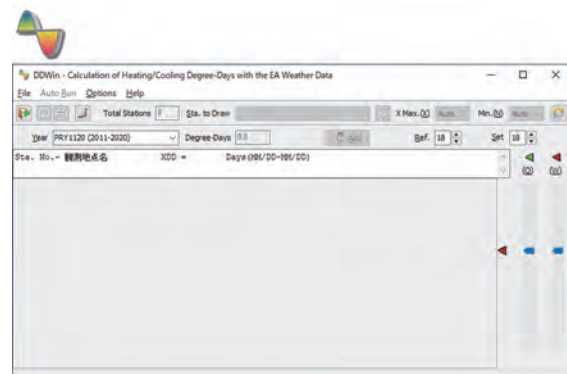
^{注2} スピード・ボタンといい、マウス左クリックにより作動します。多くの場合、マウスをスピード・ボタンの上に移動するとバルーン・ヒントやステータス・ライン・ヒントが表示されますので、詳しい説明は不要と思います。

ツール・プログラム①～⑥のメイン・ウィンドウとアイコンは、図 11 の通りです。紙面の都合で初期起動時の画面サイズと異なる縦横比で表示していることにご注意ください。

(a) カラー・コンター・マップ描画ツール：ColorMap



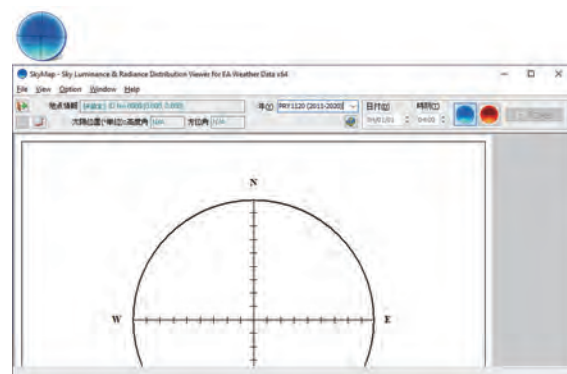
(b) デGREE・ディ計算描画ツール：DDWin



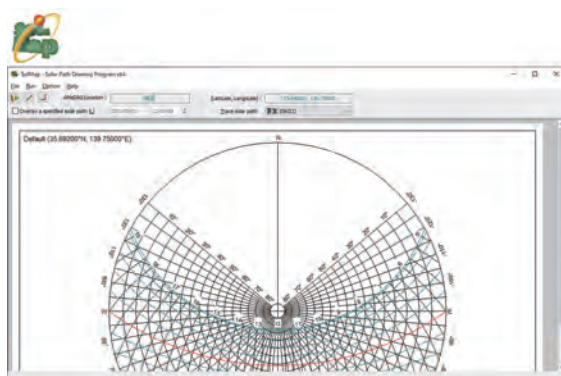
(c) ColorMap 用グレイ下図作成ツール：GmConv



(d) 天空輝度分布等計算描画ツール：SkyMap



(e) 太陽位置図描画ツール：SolMap



(f) アメダス観測地点情報検索ツール：StnFind

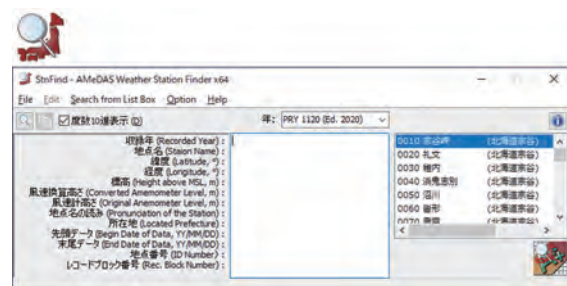


図 11 各種ツール・プログラムのアイコンとメイン・ウィンドウ

これまでのバージョンを使っていたユーザーには、どのツールのウィンドウもお馴染みの画面で、操作性などに大きな変更はなく、従来と違和感なく使えるとご理解いただけるものと思います。それでも、いくら本バージョンでの変更点などがありますので、次節にまとめて示します。

2.2 各種ツール・プログラムの概要

まずは、ツール・プログラム①～⑥の概要を一覧できるようにまとめた、表 1 を参照してください。

表 1 各種ツール・プログラムの概要

ツールの 名称 (Ver.)	32 / 64 bit 版	JP / EN 対 応	dll の 参 照	Stn GUI の 参 照	doc の 使 用	ツールの主な 機能	前バージョン (Ver.) からの 変更・改良点	その他の 留意事項
ColorMap (2.0)	✓	✓	✓		✓	平面に広がるアメ ダス観測点の値に 基づいてカラー・コ ンター図を描画する ツール・プログラム。 日本全土、北海道 ～九州の地域別のテ ンプレートが準備さ れている。	テンプレートを拡 充し、過去標準年 2020 年版および将 来標準年 2086 年版 に対応。	テンプレートのファ イル類などは、自己 展開型の圧縮ファ イル CM-Dataset. exe で提供される。 このファイルは ColorMap 初回起動 時、自動的にユー ザー・フォルダーに 展開される。
DDWin (3.0)	✓	✓	✓	✓	✓	拡張アメダス気象 データの日別気温 を 1 年分読み込ん で、デGREE・ディ をビジュアルに計 算するツール・プロ グラム。	uf1 ファイルからの 操作を廃止。スライ ダーによる描画操作 性を改良。	バッチ・ファイル的 な一括処理が可能。
GmConv (4.2)	✓	✓	✓		✓	ColorMap で利用可 能なテンプレートと してのグレイ画像フ ァイルなど、一連の ファイルを造成する ツール・プログラム。	バッチ処理の強化 (バッチ・ファイル 例 Hokkaido00.gmb 参照)。	データ入力に Stn Info ファイルが必 須。
SkyMap (4.0)	✓	✓	✓	✓	✓	i- All Sky Model- L/ -R (井川 [6]) に 基づいて、天空輝度 分布・天空放射輝度 分布を描画するプロ グラム。	バッチ処理の強化 (IDMP145 地点の 時別データの年間フ ァイル出力を追加)。 uf1 ファイルからの 操作を廃止。	
SolMap (2.0)	✓	✓	✓	✓		太陽位置図描画プロ グラム。	計算方法の更新 (2150 年対応)。	英語環境などで起動 しない場合あり。
StnFind (4.0)	✓	✓	✓	✓		アメダス観測地点情 報検索ツール。		

32/64bit 版：両方が存在する場合に ✓ 印

JP/EN 対応：Windows の日本語環境／英語環境の両方に対応する場合に ✓

dll の参照：StnInfo2022.dll と EA_Tools.dll を必要とする場合に ✓

StnGUI の参照：StnGUI.exe を必要とする場合に ✓

doc の使用：所定のユーザー・フォルダーにファイルを出力する機能がある場合に ✓

表に取り上げた全てのツール・プログラムには、32bit 版と 64bit 版のものがあり、Windows OS の言語環境が日本語の場合でも英語（米語）の場合でも動作します。ただし、SolMap は英語環境の場合に起動しない場合がありますのでご注意ください。また、全てのツール・プログラムは、StnInfo2022.dll と EA_Tools.dll のライブラリー・ファイルを必要としますので、所在場所を同一にしたままにしてください。なお、これらの dll ファイルにも 32bit 版と 64bit 版の区別があり、実行形式プログラムの版と混在させて使用することはできません。要するに、インストーラーが自動的に配置した全てのファイルは手動で移動させないことが肝心です。

アメダス観測地点は、例えば図 11 (f) の右側にあるようなリスト・ボックスを使って選択することができますが、観測地点を入力として使用する多くのツール・プログラムでは StnGUI.exe という名前の実行形式（EXE）ファイルを外部プログラムとして呼び出して、あたかもツール・プログラムに備わったウィンドウであるかのように使用します。この外部プログラムの実行画面の例を図 12 に示します。このプログラムでは一度に複数地点を選択できますが、呼び出し側のツール・プログラムの要求が、（文脈的に）ひとつの地点の指定を求めている場合、複数の地点を StnGUI で指定した時には最後の選択地点が採用されます。

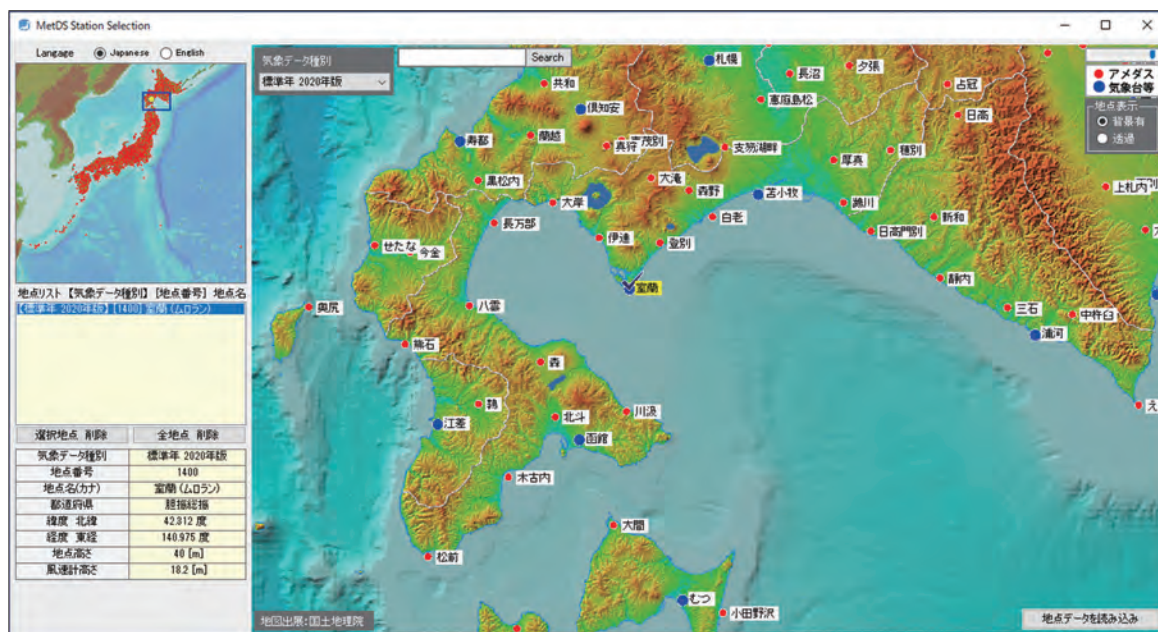


図 12 アメダス観測地点を選択するためのプログラム StnGUI の画面例

ツール・プログラムが、ユーザーが自由にファイルを読み書きすることの可能な “C:\¥Users¥Hoge¥Documents” の絶対パスにあるフォルダー^{注3}を利用してファイル入出力を行うかどうか — その有無。それが、表中に「doc の使用」と記した欄の意味です。表から分かる通り、この欄の ✓ 印は、ColorMap, DDWin, GmConv, SkyMap の 4 種類に付いています。このうち、機能に相互関係がある ColorMap と GmConv は同じフォルダー配下のファイルにアクセスしますので、大きく 3 通りのファイル入出力があることになります。

^{注3} いわゆるユーザー用の「ドキュメント・フォルダー」。ここで Hoge と記した部分は、Windows OS における個人ユーザー名に読み換えてください。

以下は、そのフォルダー構成ですが、これらはユーザーが特に意識しなくても自動的に構築されるものです。ただし、ユーザーにとって重要な作業成果のファイルが保管される場所ですから、この構成は熟知しておいていただきたい事項です。ユーザーが作成したファイルを移動したり消去する時には、必ずタイムスタンプを確認し、デフォルトで提供されているファイルを削除しないようにしてください。本格的にグラフィック・ツールを使用される前に、これらのフォルダーにあるファイルに「読み出しのみ可能（編集禁止）属性」を付けておくことは、よい考えです。また、CM_Dataset.exe を C:¥Users¥Hoge¥Documents¥EA_Tools¥ にコピーして実行し、ファイルを再生することもできるでしょう。

C:¥Users¥Hoge¥Documents¥EA_Tools¥

- ColorMap¥.....ColorMap と GmConv 用
Ame, Bmp, Cfg.....テンプレートの作図用データ・ファイル類
Dat¥
 <.>.....描画用データ・ファイル、描画結果ファイルなど
 Template.....テンプレートのデータ・ファイル類
 Sample.....描画用データ・ファイル、描画結果ファイルの例
- DDWin.....DDWin の出力／バッチ・ファイル用
- SkyMap.....SkyMap の出力ファイル用

なお、これら 3 つのフォルダーとその内容については、ColorMap, DDWin, GmConv, SkyMap のマニュアルで詳しく解説します。ここではトラブル・シューティングに役立つ情報のみに留めておきます。

2.3 使用されるレジストリー

トラブル・シューティングの役に立つように、HKEY_CURRENT_USER¥SOFTWARE¥MetDS¥EA_Tools¥ 以下にあるレジストリー・キーを以下に列挙します。

- HKEY_CURRENT_USER¥SOFTWARE¥MetDS¥EA_Tools¥ColorMap
 - AmePath = C:¥Users¥Hoge¥Documents¥EA_Tools¥ColorMap¥Ame¥
 - BmpPath = C:¥Users¥Hoge¥Documents¥EA_Tools¥ColorMap¥Bmp¥
 - CfgPath = C:¥Users¥Hoge¥Documents¥EA_Tools¥ColorMap¥Cfg¥
 - DatPath = C:¥Users¥Hoge¥Documents¥EA_Tools¥ColorMap¥Dat¥
 - Clrs = ff5800 e6ff00 00ff00 00ffe6 0058ff 0058ff 0058ff 0058ff 0058ff 0058ff
 - UseJP = 整数 [0 | 1]
 - WindowLeft = 整数
 - WindowTop = 整数
- HKEY_CURRENT_USER¥SOFTWARE¥MetDS¥EA_Tools¥DDWin
 - UseJP = 整数 [0 | 1]
 - Kind = 整数 [0 | 1]
 - Multi = 整数 [0 | 1]
 - Skip = 整数 [0 | 1]
 - Scaling = 整数 [0 | 1]
 - UserRWY = 整数 [0 | 1]
 - Height = 整数
 - Left = 整数
 - Top = 整数
 - Width = 整数
 - UsedFile = C:¥Users¥Hoge¥Documents¥EA_Tools¥DDWinDat¥Hoge.txt

- HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE\MetDS\EA_Tools\EA_SetEnv
 Update = 20YY/MM/DD hh:mm:ss
 WindowLeft = 整数
 WindowTop = 整数
 UseJP = 整数 [0 | 1]
- HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE\MetDS\EA_Tools\GmConv
 UseJP = 整数 [0 | 1]
 WindowLeft = 整数
 WindowTop = 整数
 OldStnInfo = 整数
- HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE\MetDS\EA_Tools\SkyMap
 ClrsL = 000000 500000 700000 a00000 d00000 f03000 f05000 f07000 ...
 ClrsR = 000000 001030 001050 001070 0010a0 0010d0 0050f0 0070f0 ...
 UseJP = 整数 [0 | 1]
 WindowLeft = 整数
 WindowTop = 整数
 WindowHeight = 整数
 WindowWidth = 整数
 DrawC = 整数 [0 | 1]
 DrawP = 整数 [0 | 1]
 DrawS = 整数 [0 | 1]
 DrawT = 整数 [0 | 1]
 GraphLeft = 整数
 GraphTop = 整数
 GraphHeight = 整数
 GraphWidth = 整数
- HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE\MetDS\EA_Tools\SolMap
 UseJP = 整数 [0 | 1]
 WindowLeft = 整数
 WindowTop = 整数
 WindowHeight = 整数
 WindowWidth = 整数
- HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE\MetDS\EA_Tools\StnFind
 AutoSave = 整数 [0 | 1]
 DecMode = 整数 [0 | 1]
 DecOn = 整数 [0 | 1]
 DllSave = 整数 [0 | 1]
 LoadPrev = 整数 [0 | 1]
 WindowFix = 整数 [0 | 1]
 UseJP = 整数 [0 | 1]
 LoctPrev = 整数
 WindowPos = 整数
 WindowLeft = 整数
 WindowTop = 整数

後略
後略

整数 [0 | 1] は、「いいえ (No)」と「はい (Yes)」に意味的に対応します。よほど Windows OS に精通していない限り、レジストリーを手動で編集することはお薦めできません。本節の内容は、飽くまでトラブル・シューティングの材料とお考えください。不具合のご相談のために弊社のサポート窓口「お問い合わせフォーム」でご連絡いただく場合には、ここに示したレジストリーの状況をお知らせくださいますよう、お願いいたします。

なお、StaFind を除く、5 つのツール・プログラム、すなわち ColorMap, DDWin, GmConv, SkyMap, SolMap のメイン・メニューには、1 章で述べた EA_SetEnv2022 を子プロセスとして起動させる機能が備わっていることも記しておきます。

参考・引用文献

- [1] MetDS: EA グラフィック・ツール 2022 カラー地図描画ツール—ColorMap/GmConv, ユーザーズ・マニュアル, 株式会社 気象データシステム (鹿児島, eブック), 2022 年 5 月.
- [2] MetDS: EA グラフィック・ツール 2022 デグリー・ディ計算ツール—DDWin, ユーザーズ・マニュアル, 株式会社 気象データシステム (鹿児島, eブック), 2022 年 5 月.
- [3] MetDS: EA グラフィック・ツール 2022 天空輝度・天空放射輝度描画ツール—SkyMap, ユーザーズ・マニュアル, 株式会社 気象データシステム (鹿児島, eブック), 2022 年 5 月.
- [4] MetDS: EA グラフィック・ツール 2022 太陽位置図描画ツール—SolMap, ユーザーズ・マニュアル, 株式会社 気象データシステム (鹿児島, eブック), 2022 年 5 月.
- [5] MetDS: EA グラフィック・ツール 2022 アメダス観測地点検索ツール—StnFind, ユーザーズ・マニュアル, 株式会社 気象データシステム (鹿児島, eブック), 2022 年 5 月.
- [6] N. Igawa: Improving the All Sky Model for the luminance and radiance distributions of the sky, Solar Energy, 105, pp.137-157, 2014.

索引

32bit 版・64bit 版, 1, 7	StnGUI.exe, 2, 9
CM-Dataset	StnInfo2022.dll, 1, 9
CM-Dataset.exe, 2, 10	StnInfo ファイル, 6
ColorMap	UAC
ColorMap.exe, 2, 8	→ユーザー・アカウント・コントロール, 3
DDWin	Wea2 形式, 6
DDWin.exe, 2, 8	Wea2 ファイル, 5, 6
Dll	
→ダイナミック・リンク・ライブラリー, 1	インストール先 (フォルダー), 1
DVD	グラフィック・ツール, 7
—の登録, 6	—のアイコン, 7
EA-SetEnv2022	—のメイン・ウィンドウ, 7
EA-SetEnv2022.exe, 2	シリアル ID, 3
—の起動方法, 2	—の再生, 4
—の使い方, 2	—の登録, 3
EA-Tools.dll, 1, 9	実行形式 (EXE) ファイル, 1
GmConv	スピード・ボタン, 6
GmConv.exe, 2, 8	ダイナミック・リンク・ライブラリー, 1, 9
—の起動用バッチ・ファイル, 1	登録
—の内部データ・ファイル, 1	DVD の—, 6
SkyMap	シリアル ID の—, 3
SkyMap.exe, 2, 8	ドライブ/フォルダーの—, 5
SolMap	ユーザー名・組織名の—, 3
SolMap.exe, 2, 8	ドライブ/フォルダー
StnFind	—の登録, 5
StnFind.exe, 2, 8	ユーザー・アカウント・コントロール, 3
StnGUI	ユーザー名・組織名
	—の登録, 3
	レジストリー, 6, 11

EA グラフィック・ツール 2022
ジェネラル・ユーザーズ・マニュアル
兼 環境設定プログラム
“EA_SetEnv2022” マニュアル

2022 年 5 月 31 日 第 1 版第 1 刷

© 2022, Meteorological Data System
Co. Ltd. All Rights Reserved.

編集・著作 株式会社 気象データシステム
印刷・発行 株式会社 気象データシステム
〒890-0051 鹿児島県鹿児島市高麗町 10-19-1105
URL <https://www.metds.co.jp/>
